

令和6年度 1級土木施工管理技術検定 第一次検定<総評>

7月7日(日)に実施された、令和6年度の「1級土木施工管理技士 第一次検定」の問題は、過去問ベースの出題傾向で大きな変化はありませんでした。

しかし、新科目もあったことで全体的な難易度は**やや難しかった**と思います。また、応用能力問題も、過去問とは似ているものの例年と同様、やや難しかったと思います。

合格するためには、やはり過去問の意味を理解して徹底的に解き続ける必要があると感じた試験でした。

●**午前部**

【No1~No5 新科目】

例年に無い問題であったため、**難しい問題**だったと思います。

しかし、令和6年度の「2級土木施工管理技士 第1次検定試験(前期)」の問題を解いておけば1点以上は取れた問題でした。

土質工学2問(土の構成、粒径加積曲線と三角座標)、構造力学2問(曲げモーメント、図心)、水理学1問(連続の式)、2級土木施工管理技士の問題と同じものでした。

【No6~No20 一般土木】

一般土木の難易度は**やや難しかった**と思います。

No6は頻出の問題ですが、各々の試験の特徴を覚えていないと解けない問題です。

No11のコンクリート用粗骨材の問題は数値を暗記していなければならない問題で、No12の骨材の試験方法の問題も、過去問から出題されたことはあるものの、非常に覚えづらい問題のため難しかったと思います。

No18の打込み杭工法の問題は、近年出題されたことのないような文章であったため、解きづらかったと思います。

出題内容は、土工5問、コンクリート工6問、基礎工4問と例年と同じでした。

【No21~No54 専門土木】

専門土木の難易度は**例年通り**です。

過去問と同じ内容の問題が例年通り散見されたため、解きやすい問題を選択すれば点数を稼げた内容でした。専門土木の中にも、一般土木の土工やコンクリート工に類似する問題があるため、見極めることが重要です。

私が選ぶとしたら、

No22 鋼道路橋における溶接施工

No23 鋼道路橋における高力ボルトの締付け作業

No26 河川堤防の盛土施工

資格の学校 TAC

令和 6 年度 1 級土木施工管理技術検定 第一次検定

- No31 急傾斜地崩壊防止工
- No32 道路のアスファルト舗装における路床の施工
- No33 道路のアスファルト舗装における上層路盤の施工
- No39 ダムコンクリートの打込み
- No46 鉄道のコンクリート路盤の施工
- No51 軟弱地盤や液状化の恐れのある地盤における上水道管布設
- No52 下水道に用いられる剛性管渠の基礎の種類の問題でした。

【No55～No66 法規】

法規の難易度は**例年通り**です。

変わった部分は、火薬類取締法が出題されず、平成 27 年以来、建設業法から 2 問出題されました。

出題内容は、労働基準法 2 問、労働安全衛生法 2 問、建設業法 2 問、道路法 1 問、河川法 1 問、建築基準法 1 問、騒音・振動規制法 2 問、港則法 1 問でした。

●午後の部

【No1～No4 共通工学】

共通工学の難易度は**例年通り**です。

TS を用いて行う測量 1 問、公共工事標準請負契約約款 1 問、ボックスカルバートの配筋図 1 問（2 年ぶりの出題）、電気設備 1 問（3 年ぶりの出題）でしたので、しっかりと得点していきたいところです。

【No 5 ～No20 施工管理法】

施工管理法の難易度は**やや難しかった**と思います。

No8、No10、No12、No16 は数値を暗記していなければならない問題、No15 の路床や路盤の品質管理の問題は迷ってしまう問題でした。

施工計画 1 問、工程管理 1 問、安全管理 7 問、品質管理 3 問、環境保全等 4 問。この出題内容は令和 3 年から令和 5 年までと変わらないものでした。

【No21～No35 応用能力】

応用能力の難易度は**やや難しかった**と思います。

No23 の土留め工の施工は、初出題でした。No32 の管理図は平成 29 年以來に出題されました。No35 の微破壊・非破壊試験の④の問題は、迷ってしまう問題でした。

施工計画 4 問、工程管理 3 問、安全管理 7 問、品質管理 3 問。令和 3 年から令和 5 年の出題内容と比べ、施工計画が 1 問増え、工程管理が 1 問減りました。

※この総評の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。